

## 広島大学 病院輸血部 2014 年業績

### 1) 論文 (査読あり)

- 1) Saeki N, Mochizuki S, Fujii T, Kawamoto M. Postsurgical coagulopathy in a hemophilia A patient with inhibitors: efficacy of recombinant factor VIIa. J Anesthesia 28(4);621-624, 2014.
- 2) 藤井輝久, 齊藤誠司. 外傷性難治出血に対するフィブリノゲン製剤及び遺伝子組み換え型活性化第Ⅶ因子製剤による止血療法. 臨床血液 55(2);234-237, 2014.
- 3) 鈴木隆史, 嶋緑倫, 内海英貴, 川杉和夫, 坂田洋一, 野上恵嗣, 花房秀次, 藤井輝久, 堀越泰雄, 新井盛大, 松下正. 治療歴のある血友病 A 患者における B ドメイン切断型遺伝子組み換え第Ⅷ因子製剤の安全性と有効性: 前集団と日本人被験者集団のデータ比較. 血栓止血誌 25 (1);75-81, 2014.
- 4) 齊藤 誠司, 河野 真由, 小松 真由美, 矢内 綾佳, 山岡 愛子, 栗田 絵美, 野間 慎尋, 廣瀬 祥子, 河野 富士子, 平岡 朝子, 大崎 千津子, 山崎 尚也, 藤井 輝久, 一戸 辰夫. 輸血ドナーからの移行抗体により HBs および HBc 抗体が陽転化した小児例. 日輸細治会誌. 60(4); 533-538, 2014.
- 5) 藤井宝恵, 古賀彩香, 石川茉莉子, 笹木忍, 井上雅美, 小林正夫, 宮腰由紀子, 藤井輝久. 血友病患者の母親支援に関するニーズ調査. 日遺看会誌. 13(2);83-90, 2014.

### 2) 学会発表

- 1) T.Fujii, T.Fujii, S.Saito. The relationship with weather and joint bleedings in haemophilic patients. XXXI International Congress of the World Federation of Hemophilia. May of 2014. Merborne.
- 2) Teruhisa Fujii, Keiji Nogami, Ei Kinai, Kenichi Kojima, Kentaro Nishimura. “Moba-Roku” : use of a mobile recording system for tracking treatment infusions. XXXI International Congress of the World Federation of Hemophilia. May of 2014. Merborne.
- 3) 藤井輝久, 高田昇, 田中純子, 岩戸康治, 二宮基樹, 小野和身, 荒谷千登美, 山本昌弘, 入船秀典, 古本雅明, 有馬明彦: 広島県合同輸血療法委員会の活動～特に訪問相談事業について～, 第 59 回日本輸血・細胞治療学会中四国支部会, 2014 年 9 月, 徳島.
- 4) Teruhisa Fujii, Noya Yamasaki, Seiji Saito. Influence of wether on joint bleedings and hemorrhage reduction effect by prophylaxis in hemophilia. 第 76 回日本血液学会総会, 2014 年 10 月, 大阪
- 5) 藤井輝久, 齊藤誠司, 山崎尚也, 木下一枝, 小川良子, 藤井健司, 藤田啓子, 畝井浩子, 高田昇: ART 導入例におけるレジメンとウイルス量及び CD4 数の変化の

- 関係. 第 28 回日本エイズ学会学術集会, 2014 年 12 月, 大阪
- 6) 野間慎尋, 平岡朝子, 栗田絵美, 小松真由美, 河野真由, 山岡愛子, 廣瀬祥子, 大崎千津子, 山崎尚也, 齋藤誠司, 藤井輝久: 大量輸血症例と二次止血関連検査に関する解析, 第 62 回日本輸血・細胞治療学会総会, 2014 年 5 月, 奈良
  - 7) 山崎尚也, 山岡愛子, 平岡朝子, 小松真由美, 栗田絵美, 河野真由, 野間慎尋, 矢内綾佳, 廣瀬祥子, 齋藤誠司, 藤井輝久. 本院血液内科におけるデフェラシロクス使用状況についての検討. 第 62 回日本輸血・細胞治療学会総会, 2014 年 5 月, 奈良
  - 8) 平岡朝子, 山崎尚也, 山岡愛子, 栗田絵美, 河野真由, 廣瀬祥子, 齋藤誠司, 藤井輝久. 献血血漿の譲渡に関する公募に応募することにより入手した抗 Dib 血清および Dib, Jra 陰性血球の検討. 第 62 回日本輸血・細胞治療学会総会, 2014 年 5 月, 奈良
  - 9) 山崎尚也, 齋藤誠司, 藤井輝久, 高田昇, 一戸辰夫. 血友病患者における観血的処置後の再出血を来した症例の検討. 第 36 回日本血栓止血学会学術集会. 2014 年 5 月. 大阪
  - 10) 齋藤誠司, 山崎尚也, 藤井輝久, 高田昇, 一戸辰夫. 抗血栓療法に難渋した心血管疾患に心房細動を合併した軽症血友病患者. 第 36 回日本血栓止血学会学術集会. 2014 年 5 月. 大阪
  - 11) 齋藤 誠司, 山崎 尚也, 藤井 輝久, 鍵浦 文子, 藤井 健司, 藤田 啓子, 畝井 浩子, 大毛 宏喜. 診断の遅れからエイズ指標疾患を発症し, 輸血前感染症検査にて診断に到った HIV/AIDS の 3 症例. 第 88 回日本感染症学会学術講演会, 2014 年 6 月, 福岡
  - 12) 鍵浦 文子, 木下 一枝, 山崎 尚也, 齋藤 誠司, 藤井 輝久, 高田 昇. 広島大学病院に通院する HIV 感染者の梅毒治療の現状. 第 88 回日本感染症学会学術講演会, 2014 年 6 月, 福岡
  - 13) 藤田 啓子, 藤井 健司, 畝井 浩子, 鍵浦 文子, 藤井 輝久, 齋藤 誠司, 山崎 尚也, 高田 昇, 木平 健治. 広島大学病院における抗 HIV 療法のレジメン変更状況 バックボーンについて. 第 88 回日本感染症学会学術講演会, 2014 年 6 月, 福岡
  - 14) 栗田 絵美, 平岡 朝子, 河野 真由, 山岡 愛子, 小松真由美, 矢内 綾佳, 廣瀬 祥子, 野間 慎尋, 山崎 尚也, 齋藤 誠司, 藤井 輝久. DSA 陽性患者のリツキシマブとボルテゾミブ併用における LABScreen Single Antigen Beads の推移. 第 23 回日本組織適合性学会. 2014 年 9 月. 長崎.
  - 15) 平岡朝子, 野間慎尋, 小松真由美, 矢内綾佳, 山崎尚也, 山岡愛子, 栗田絵美, 河野真由, 廣瀬祥子, 齋藤誠司, 藤井輝久. T-polyagglutination を呈した患者への輸血症例. 第 59 回日本輸血・細胞治療学会中四国地方会. 2014 年 9 月. 出雲
  - 16) 畝井 浩子, 藤田 啓子, 藤井 健司, 前田 泰則, 永野 孝夫, 藤井 輝久, 阿部

憲介, 吉野 宗宏, 木平 健治. 広島県における学校薬剤師と病院薬剤師の連携による性感染症の予防啓発に関する検討. 第 47 回日本薬剤師会学術集会, 2014 年 10 月, 山形

- 17) Naoya Yamasaki, Seiji Saito, Teruhisa Fujii. Clinical evaluation of rebleeding cases after total joint replacements in Japan. 第 76 回日本血液学会総会. 2014 年 10 月, 大阪.
- 18) 藤井健司、藤井輝久: 当院におけるスタリビルド配合錠使用例の報告. 第 24 回日本医療薬学会年会. 2014 年 9 月. 名古屋
- 19) 山崎尚也、齊藤誠司、藤井輝久: 細菌性心外膜炎を発症し診断に至った HIV 感染例. 第 36 回広島感染症研究会. 2014 年 11 月. 広島
- 20) 齊藤誠司、木下一枝、小川良子、喜花伸子、浅井いづみ、塚本弥生、藤井健司、藤田啓子、畝井浩子、山崎尚也、藤井輝久、高田 昇: 広島大学病院における中枢神経病変合併 HIV 感染者の現状と課題. 第 28 回エイズ学会学術集会. 2014 年 12 月. 大阪
- 21) 岡崎玲子、蜂谷敦子、服部純子、瀧永博之、渡邊 大、長島真美、貞升健志、近藤真規子、南 留美、吉田 繁、森 治代、内田和江、椎野禎一郎、加藤真吾、千葉仁志、伊藤俊広、佐藤武幸、上田敦久、石ヶ坪良明、古賀一郎、太田康男、山元泰之、福武勝幸、古賀道子、岩本愛吉、西澤雅子、岡 慎一、岩谷靖雅、松田昌和、重見 麗、保坂真澄、林田庸総、横幕能行、上田幹夫、大家正義、田邊嘉也、白阪琢磨、小島洋子、藤井輝久、高田 昇、高田清式、山本政弘、松下修三、藤田次郎、健山正男、杉浦 互: 新規 HIV/AIDS 診断症例における薬剤耐性 HIV の動向. 第 28 回エイズ学会学術集会. 2014 年 12 月. 大阪
- 22) 山崎尚也、木下一枝、小川良子、喜花伸子、浅井いづみ、塚本弥生、藤井健司、藤田啓子、畝井浩子、齊藤誠司、藤井輝久、高田 昇: 広島大学病院における HIV 感染者の骨代謝異常の現状と原因の検討. 第 28 回エイズ学会学術集会. 2014 年 12 月. 大阪
- 23) 木下一枝、喜花伸子、塚本弥生、齊藤誠司、小川良子、藤井健司、畝井浩子、山崎尚也、藤井輝久、高田 昇: 知的能力障害を有する HIV 患者への療養支援一周年に HIV 感染を告知しないことを選択した一事例一. 第 28 回エイズ学会学術集会. 2014 年 12 月. 大阪
- 24) 池田和子、若林チヒロ、岡本 学、渡部恵子、遠藤知之、伊藤ひとみ、伊藤俊広、川口 玲、田邊嘉也、羽柴知恵子、横幕能行、高山次代、上田幹夫、下司有加、白阪琢磨、木下一枝、藤井輝久、城崎真弓、山本政弘、岡 慎一、生島 嗣: ブロック拠点病院と ACC における「健康と生活調査」一 HIV 治療と他疾患管理の課題一. 第 28 回エイズ学会学術集会. 2014 年 12 月. 大阪
- 25) 大金美和、池田和子、若林チヒロ、坂本玲子、遠藤知之、伊藤ひとみ、伊藤俊広、川口 玲、田邊嘉也、羽柴知恵子、横幕能行、山田三枝子、上田幹夫、下司有加、白阪琢磨、鍵浦文子、藤井輝久、城崎真弓、山本政弘、岡 慎一、生島 嗣: ブ

ロック拠点病院と ACC における「健康と生活調査」－自覚症状とメンタルヘルス－. 第 28 回エイズ学会学術集会. 2014 年 12 月. 大阪

- 26) 岡本 学、生島 嗣、大金美和、坂本玲子、遠藤知之、伊藤ひとみ、伊藤俊広、川口 玲、田邊嘉也、羽柴知恵子、横幕能行、山田三枝子、上田幹夫、下司有加、白阪琢磨、鍵浦文子、藤井輝久、城崎真弓、山本政弘、岡 慎一、若林チヒロ：ブロック拠点病院と ACC における「健康と生活調査」－就労と職場環境－. 第 28 回エイズ学会学術集会. 2014 年 12 月. 大阪
- 27) 生島 嗣、岡本 学、池田和子、渡部恵子、遠藤知之、伊藤ひとみ、伊藤俊広、川口 玲、田邊嘉也、羽柴知恵子、横幕能行、高山次代、上田幹夫、下司有加、白阪琢磨、木下一枝、藤井輝久、城崎真弓、山本政弘、岡 慎一、若林チヒロ：ブロック拠点病院と ACC における「健康と生活調査」－薬物使用の状況－. 第 28 回エイズ学会学術集会. 2014 年 12 月. 大阪
- 28) 岩田倫幸、柴 秀樹、松井加奈子、新谷智章、岡田美穂、濱本京子、畝井浩子、齊藤誠司、高田 昇、藤井輝久：広島大学病院が実施した HIV 歯科診療体制構築事業後のアンケートから伺える課題. 第 28 回エイズ学会学術集会. 2014 年 12 月. 大阪
- 29) 若林チヒロ、池田和子、岡本 学、渡部恵子、遠藤知之、伊藤ひとみ、伊藤俊広、川口 玲、田邊嘉也、羽柴知恵子、横幕能行、高山次代、上田幹夫、下司有加、白阪琢磨、木下一枝、藤井輝久、城崎真弓、山本政弘、岡 慎一、生島 嗣：ブロック拠点病院と ACC における「健康と生活調査」－基本的属性と感染判明後の生活変化－. 第 28 回エイズ学会学術集会. 2014 年 12 月. 大阪

### 3) 著書・雑誌投稿など

- 1) 藤井輝久. HIV 感染症は開業医が診る時代に. 広島市医師会だより. 578(6):10-12. 2014.
- 2) 藤井輝久. 日常臨床における薬物動態測定の実際. 血液フロンティア 25(7):1011-1017, 2014.

\*他施設・他部門と共同の場合は、下線が輸血部職員。